

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月13日

上場会社名 グローブライド株式会社 上場取引所

コード番号 7990

URL https://www.globeride.co.jp/ (氏名) 鈴木 一成

代 者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 表 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 問合せ先責任者

(氏名)谷口 央樹

(TEL) 042-475-2115

定時株主総会開催予定日

2024年6月6日

2024年6月27日

配当支払開始予定日

有価証券報告書提出予定日

決算説明会開催の有無

2024年6月27日

決算補足説明資料作成の有無

: 有 (証券アナリスト、機関投資家 向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1)連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	126, 008	△6.4	7, 496	△38. 2	8, 375	△33.8	5, 582	△39. 2
2023年3月期	134, 583	11.5	12, 125	△1.8	12, 659	△2.6	9, 188	△4.0
(注) 包括利益	2024年3月	期	8,484百万円(△25.4%	2023年3	月期	11,373百万円(4.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	242. 98	_	11. 0	7. 7	5. 9
2023年3月期	400. 04	_	21. 7	12. 7	9. 0
	400. 04			12 7	

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	108, 717	54, 488	49. 9	2, 361. 38
2023年3月期	109, 034	47, 485	43. 4	2, 058. 92
/女士/ 占 7 次 上	0004/5 0 🗆 🖽	E4 001 T T T 0000	A 000 T T	- —

(参考)自己資本 2024年3月期 54, 261百万円 2023年3月期 47, 296百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	12, 405	△6, 314	△6, 376	12, 031
2023年3月期	4, 158	△3, 868	4, 653	12, 107

2 配当の状況

<u> </u>								
	年間配当金				配当金総額	配当性向	純資産 配当率	
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	(合計)	(連結)	(連結)
	円銭	円銭	円 銭	円銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	_	30.00	_	30.00	60.00	1, 378	15. 0	3. 3
2024年3月期	_	35. 00	_	35. 00	70. 00	1, 608	28. 8	3. 2
2025年3月期(予想)	_	40.00		40. 00	80. 00		54. 1	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示け 通期け対前期 四半期は対前年同四半期増減率)

				(70衣小は、1	世州は刈	刑别、四十	別は刈り	14问四十别培观4	뚜 /
	売上高		営業利	益	経常利	益	親会社株主 する当期		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 纤	銭
第2四半期(累計)	66, 000	△2.8	3, 800	△41. 7	3, 500	△51.4	2, 400	△52.9	104. 4	14
通期	127, 000	0.8	5, 500	△26.6	5, 100	△39.1	3, 400	△39.1	147. 9	96

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

2024年3月期	24, 000, 000株	2023年3月期	24, 000, 000株
2024年3月期	1, 021, 181株	2023年3月期	1, 028, 404株
2024年3月期	22, 976, 302株	2023年3月期	22, 968, 792株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1)個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	* * /	4-12-4			
		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
Ī		百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
	2024年3月期	58, 416 △5. 3	△684 —	3, 974 △31. 6	2, 518 △43. 9
	2023年3月期	61, 712 8. 6	2, 249 △46. 9	5, 809 △8. 7	4, 491 △6. 9
		1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益		
Ī		円 銭	円 銭		
	2024年3月期	109. 63	_		
	2023年3月期	195. 55	_		

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	68, 637	28, 425	41. 4	1, 237. 01
2023年3月期	67, 496	26, 299	39. 0	1, 144. 86

(参考) 自己資本

2024年3月期 2

28, 425百万円

2023年3月期

26, 299百万円

- ※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】 $P.3 \ 1.$ 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1)当期の経営成績の概況	2
(2)当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4)今後の見通し	3
2. 経営方針	3
(1) 会社の経営の基本方針	3
(2) 目標とする経営指標	3
(3) 中長期的な会社の経営戦略	3
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
4. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1)連結貸借対照表	4
(2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3)連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5)連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、ポストコロナの動きの中で社会活動の正常化が進み、個人消費やインバウンド需要が持ち直し、緩やかな景気回復基調で推移しました。その一方で、原材料価格やエネルギー価格の高騰、円安進行からの物価上昇が続いており、依然として先行き不透明な状況が続いております。海外においてはロシア・ウクライナ情勢の長期化に起因するインフレ傾向や中東情勢等の地政学的リスクの高まり、欧米各国における金融引き締めの長期化、中国経済の先行き懸念など、経済回復の基調は力強さに欠ける状況となりました。

ける金融引き締めの長期化、中国経済の先行き懸念など、経済回復の基調は力強さに欠ける状況となりました。 こうした情勢の下、当社グループの属するアウトドア・スポーツ・レジャー業界の市況は、余暇の過ごし方が旅 行や買い物など、他のスポーツ・レジャーへ分散化、多様化し、また、物価高による家計への負担増の影響を受 け、停滞感が見られる状況となりました。

そのような中、当社グループにおきましては、ライフタイム・スポーツ・カンパニーとして、自然とスポーツを愛する皆様に、魅力ある製品と質の高いサービスの提供を行ってまいりましたが、釣り具などのアウトドア・スポーツ・レジャー用品の需要減速や市場在庫調整等の影響を受け、当連結会計年度におきましては、売上高は1,260億8百万円(前期比6.4%減)となりました。利益面におきましては、減収による粗利益の減少や人件費等の費用の増加等により、営業利益は74億9千6百万円(前期比38.2%減)、経常利益は83億7千5百万円(前期比33.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は55億8千2百万円(前期比39.2%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高及び振替高を含んでおります。

①日本

日本地域におきましては、行動制限の緩和による旅行など他のレジャーへの消費の多様化や、エネルギー価格や物価の高騰が家計を圧迫している状況からアウトドア・スポーツ・レジャーの市況は足取りの重い状況となっております。そのような中、当社グループは、フィッシングではスピニングリール「AIRITY」やバスロッド「STEEZ RC」、ゴルフでは「ONOFF KURO」などお客様にご満足いただける新製品の投入とサービスの提供を行ってまいりましたが、売上高は821億6千万円(前期比5.6%減)、セグメント利益は、減収による粗利益の減少等により41億4千3百万円(前期比43.3%減)となりました。

②米州

米州地域におきましては、経済が正常化する一方で、依然高水準なインフレ圧力による景気への影響が懸念される状況が続きました。そのような中、米国市場向けには「TATULAシリーズ」を始めとしたバスフィッシング用品を中心に販売拡大の取り組みを行ってまいりましたが、売上高は125億2千7百万円(前期比10.2%減)、セグメント利益は3億1千7百万円(前期比33.1%増)となりました。

③欧州

欧州地域におきましては、長期化するロシア・ウクライナ情勢に伴う高水準なインフレが家計を圧迫し、個人消費にも影響を及ぼす状況となりました。そのような中、引き続き各地域のニーズに合った製品の投入等を行い、また円安による換算の影響もあり、売上高は147億4千4百万円(前期比1.9%増)となりましたが、在庫健全化のための処分費用の発生や人件費・荷造運搬費等の費用が増加したことなどにより、セグメント損失は2億1千9百万円(前期は1億4千2百万円のセグメント利益)となりました。

④アジア・オセアニア

アジア・オセアニア地域におきましては、国ごとの社会経済情勢にばらつきが生じておりますが、金利の上昇、物価の上昇はアジアにおいても顕著となり、消費マインドの低下からアウトドア・スポーツ・レジャーの市況にも減速感が出始めております。そのような中、当社グループにおきましては、日本製の高級品や現地専用品を中心に売上拡大に取り組んでまいりましたが、売上高は494億4千5百万円(前期比13.0%減)、セグメント利益は62億1千万円(前期比25.4%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は1,087億1千7百万円と前連結会計年度末と比べ3億1千6百万円減少しております。これは主に、設備投資により有形固定資産が増加した一方で、棚卸資産が減少したことによるものです。

負債合計は542億2千9百万円と前連結会計年度末と比べ73億1千9百万円減少しております。これは主に、仕入債務と借入金が減少したことによるものです。

純資産合計は544億8千8百万円と前連結会計年度末と比べ70億2百万円増加しております。これは主に、親会 社株主に帰属する当期純利益を計上したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ7千6百万円減少し、120億3千1百万円(前連結会計年度末は121億7百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益を計上したことに加え、棚卸資産が減少したことにより、124億5百万円の収入(前連結会計年度は41億5千8百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備や新製品生産用金型を中心とした設備投資を行ったことから、63億1千4百万円の支出(前連結会計年度は38億6千8百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の減少により、63億7千6百万円の支出(前連結会計年度は46億5千3百万円の収入)となりました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内外の経済はコロナ禍から脱却しましたが、欧米各国での金融引き締めや地政学的リスクの高まり、中国経済の減速等、引き続き先行き不透明な状況となっております。当社グループの属するアウトドア・スポーツ・レジャー業界の市場環境も、他のスポーツ・レジャーへの分散化・多様化により、足下では力強さに欠ける状況が続き、その後緩やかに回復するものと予想されます。このような中、当社グループは引き続き「攻めの経営」を堅持し、持続的に成長可能な事業基盤を構築すべく、グループを挙げて取り組んでまいります。

次期業績見通しにつきましては、市場の回復は地域ごとにバラつきがあると見込まれ、また、物価高・エネルギー高に伴い人件費を始めとした販売費及び一般管理費等の増加が見込まれることから、連結売上高1,270億円(前期比0.8%増)、連結営業利益55億円(前期比26.6%減)、連結経常利益51億円(前期比39.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益34億円(前期比39.1%減)を予想しております。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、"Feel the earth" (地球を感じ、生きていく。)をスローガンに、地球を舞台に、スポーツを通じ、人生の豊かな時間を提供するライフタイム・スポーツ・カンパニーとして、自然とスポーツを愛する世界中の人々に貢献してまいります。

(2) 目標とする経営指標

当社グループは、2022年5月に2025年度を最終年度とする「新・中期経営計画2025」を発表しましたが、事業環境や業績の変化を踏まえ、新たに「新・中期経営計画2026(2024年度~2026年度)」を策定し、最終年度(2026年度)の到達目標を以下の通り設定いたしました。

	2026年3月期 (当初目標)
売上高	1,500億円
営業利益	1 4 5 億円
1株当たり配当金	9 0 円
ROE	_
PBR	_



2027年3月期 (新目標)
1,400億円
100億円
100円 配当性向30%以上を維持し、 安定的かつ継続的な増配を 実施する。
12%以上
継続して1.0倍以上

(3) 中長期的な会社の経営戦略

今後も不安定な世界情勢や物価高、金利高が続くことが予想されますが、自然志向や健康志向が世界的に広がりを見せる中で、フィッシングをはじめとしたアウトドア・スポーツ・レジャーの市場は緩やかに回復するものと予想されます。当社グループは、自然とスポーツを愛する人々に貢献するために、ライフタイム・スポーツ(人生を豊かにするスポーツ)の提案を続け、一層の躍進に挑戦してまいります。

また当期末においては当社の株価純資産倍率(PBR)は1倍を下回っており、当社グループの成長戦略に関する開示の充実や、経営意識の転換が必要不可欠と認識しております。今般、目標とすべき指標を見直し、更なる企業価値向上を目指してまいります。

事業別戦略や企業価値向上に取り組む内容については、別途開示いたしました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応並びに中期経営計画修正について」をご参照ください。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの財政状態や経営成績を表すために一部の会計基準が日本基準とIFRSでは異なりますが、現在のところは日本基準が妥当であると考えております。したがって、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する予定であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12, 875	12, 979
受取手形及び売掛金	12, 956	13, 999
電子記録債権	243	391
商品及び製品	34, 274	31, 036
仕掛品	4, 397	3, 850
原材料及び貯蔵品	5, 487	3, 76
その他	3, 998	3, 650
貸倒引当金	$\triangle 494$	△559
流動資産合計	73, 738	69, 110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16, 597	18, 88
減価償却累計額	△9, 131	△9,85
建物及び構築物(純額)	7, 466	9, 03
機械装置及び運搬具	15, 590	17, 37
減価償却累計額	△9, 651	△10, 92
機械装置及び運搬具(純額)	5, 938	6, 44
土地	5, 484	5, 51
リース資産	1, 025	2, 63
減価償却累計額	△693	△39
リース資産 (純額)	331	2, 23
建設仮勘定	1, 920	1, 09
その他	17, 402	18, 86
減価償却累計額	△15, 387	△16, 54
その他(純額)	2, 014	2, 32
有形固定資産合計	23, 156	26, 63
無形固定資産		
その他	1,725	1, 50
無形固定資産合計	1,725	1, 50
投資その他の資産		
投資有価証券	5, 059	6, 47
繰延税金資産	2, 947	2, 51
退職給付に係る資産	98	13
その他	2, 349	2, 38
貸倒引当金	△39	$\triangle 3$
投資その他の資産合計	10, 413	11, 47
固定資産合計	35, 296	39, 600
資産合計	109, 034	108, 717

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6, 151	4, 897
電子記録債務	8, 882	6, 806
短期借入金	18, 414	12, 682
未払金	5, 603	3, 981
未払法人税等	1, 325	550
賞与引当金	927	932
役員賞与引当金	47	35
その他	3, 337	3, 764
流動負債合計	44, 690	33, 65
固定負債		
長期借入金	9, 599	11, 645
再評価に係る繰延税金負債	889	889
退職給付に係る負債	5, 645	5, 580
リース債務	156	1, 90
その他	566	559
固定負債合計	16, 857	20, 57
負債合計	61, 548	54, 229
屯資産の部		
株主資本		
資本金	4, 184	4, 18
資本剰余金	13	2'
利益剰余金	38, 190	42, 279
自己株式	△884	△883
株主資本合計	41, 503	45, 609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2, 438	3, 49
繰延ヘッジ損益	△16	1
土地再評価差額金	1, 977	1, 97
為替換算調整勘定	1, 479	3, 20
退職給付に係る調整累計額	△85	△38
その他の包括利益累計額合計	5, 793	8, 652
非支配株主持分	189	220
純資産合計	47, 485	54, 488
負債純資産合計	109, 034	108, 717

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 連結損益計算書

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日	当連結会計年度 (自 2023年4月1日
	至 2023年3月31日)	至 2024年3月31日)
売上高	134, 583	126, 008
売上原価	85, 596	80, 014
売上総利益	48, 987	45, 993
販売費及び一般管理費	36, 861	38, 497
営業利益	12, 125	7, 496
営業外収益		
受取利息	70	109
受取配当金	100	115
不動産賃貸料	6	6
為替差益	283	1, 059
受取ロイヤリティー	103	66
その他	544	398
営業外収益合計	1, 108	1, 755
営業外費用		
支払利息	290	489
固定資産除却損	92	39
デリバティブ評価損	73	168
その他	117	178
営業外費用合計	574	875
経常利益	12, 659	8, 375
特別利益		
固定資産売却益	6	1
投資有価証券売却益	18	0
特別利益合計	24	1
特別損失		
固定資産売却損	11	12
投資有価証券売却損	0	0
減損損失	21	152
特別損失合計	33	165
税金等調整前当期純利益	12, 650	8, 211
法人税、住民税及び事業税	3, 771	2, 536
法人税等調整額	△329	62
法人税等合計	3, 442	2, 599
当期純利益	9, 208	5, 612
非支配株主に帰属する当期純利益	19	29
親会社株主に帰属する当期純利益	9, 188	5, 582

連結包括利益計算書

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	9, 208	5, 612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	120	1,053
繰延ヘッジ損益	△65	35
為替換算調整勘定	2, 212	1, 735
退職給付に係る調整額	△102	46
その他の包括利益合計	2, 165	2,872
包括利益	11, 373	8, 484
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	11, 347	8, 441
非支配株主に係る包括利益	25	43

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

			株主資本		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4, 184	0	30, 379	△889	33, 675
当期変動額					
剰余金の配当			△1, 378		△1, 378
親会社株主に帰属する当期純利益			9, 188		9, 188
自己株式の取得				△3	△3
自己株式の処分		13		7	20
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					
当期変動額合計	ı	13	7, 810	4	7, 827
当期末残高	4, 184	13	38, 190	△884	41, 503

		その他の包括利益累計額						
	その他有価証 券評価差額金		土地再評価差額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係 る調整累計額		非支配株主持 分	純資産合計
当期首残高	2, 318	48	1, 977	△727	17	3, 634	168	37, 478
当期変動額								
剰余金の配当								△1, 378
親会社株主に帰属する当期純利益								9, 188
自己株式の取得								$\triangle 3$
自己株式の処分								20
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	120	△65	-	2, 206	△102	2, 159	20	2, 179
当期変動額合計	120	△65	_	2, 206	△102	2, 159	20	10, 007
当期末残高	2, 438	△16	1, 977	1, 479	△85	5, 793	189	47, 485

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

		株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	4, 184	13	38, 190	△884	41, 503		
当期変動額							
剰余金の配当			△1, 493		△1, 493		
親会社株主に帰属する当期純利益			5, 582		5, 582		
自己株式の取得				△5	△5		
自己株式の処分		13		8	22		
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)							
当期変動額合計	-	13	4, 089	3	4, 106		
当期末残高	4, 184	27	42, 279	△881	45, 609		

		その他の包括利益累計額						
	その他有価証 券評価差額金		土地再評価差 額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係 る調整累計額	1 + 1 1 + 1 + 2 + 2 + 2 + - 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 +	分	純資産合計
当期首残高	2, 438	△16	1, 977	1, 479	△85	5, 793	189	47, 485
当期変動額								
剰余金の配当								△1, 493
親会社株主に帰属する当期純利益								5, 582
自己株式の取得								△5
自己株式の処分								22
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	1, 053	35	-	1,722	46	2, 858	37	2, 896
当期変動額合計	1, 053	35	_	1, 722	46	2, 858	37	7, 002
当期末残高	3, 492	18	1, 977	3, 201	△38	8, 652	226	54, 488

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	前連結会計年度	(単位:百万円) 当連結会計年度
	(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	12, 650	8, 21
減価償却費	3, 495	4, 24
減損損失	21	15
貸倒引当金の増減額(△は減少)	55	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	49	
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	19	$\triangle 1$
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△98	$\triangle 4$
受取利息及び受取配当金	△170	△22
支払利息	290	48
為替差損益(△は益)	△118	△40
有形固定資産売却損益(△は益)	5	1
有形固定資産除却損	92	3
売上債権の増減額 (△は増加)	△745	$\triangle 47$
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6, 036	7, 38
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△91	59
仕入債務の増減額(△は減少)	△685	△3, 76
未払金の増減額(△は減少)	173	△28
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	56	15
預り保証金の増減額 (△は減少)	11	$\triangle 1$
その他の営業外損益 (△は益)	$\triangle 6$	Δ
投資有価証券売却損益(△は益)	△18	
その他	11	△1
小計	8, 963	16, 06
利息及び配当金の受取額	170	22
利息の支払額	△284	△47
法人税等の還付額	_	9
法人税等の支払額	△4, 696	△3, 51
その他の収入	6	
営業活動によるキャッシュ・フロー	4, 158	12, 40

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△612	△788
定期預金の払戻による収入	929	645
有形固定資産の取得による支出	△3, 765	$\triangle 5,506$
有形固定資産の売却による収入	20	16
無形固定資産の取得による支出	△511	△530
投資有価証券の取得による支出	$\triangle 4$	$\triangle 5$
投資有価証券の売却による収入	31	4
貸付けによる支出	△6	$\triangle 43$
貸付金の回収による収入	4	3
その他	44	△111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3, 868	△6, 314
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	217, 300	194, 133
短期借入金の返済による支出	△216, 222	△201, 193
長期借入れによる収入	9, 500	7, 400
長期借入金の返済による支出	△4, 068	$\triangle 4,743$
自己株式の取得による支出	△3	$\triangle 5$
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△1, 374	△1, 491
非支配株主への配当金の支払額	△5	$\triangle 5$
その他	△474	△470
財務活動によるキャッシュ・フロー	4, 653	△6, 376
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	209
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4, 958	△76
現金及び現金同等物の期首残高	7, 149	12, 107
現金及び現金同等物の期末残高	12, 107	12, 031

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に釣用品、ゴルフ用品及びラケットスポーツ用品等を生産・販売しており、国内においては当社及び連結子会社が、海外においては各地域をそれぞれ独立した現地法人が担当しており、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別セグメントから構成されており、「日本」、「米州」、「欧州」及び「アジア・オセアニア」の4つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報 前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

				\\ 	<u> 14 </u>	
		報告セグメント				
	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	合計	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	76, 002	13, 933	14, 465	30, 182	134, 583	
その他の収益	_	_	_	_	_	
外部顧客への売上高	76, 002	13, 933	14, 465	30, 182	134, 583	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11, 069	12	_	26, 664	37, 746	
<u></u>	87, 071	13, 945	14, 465	56, 847	172, 329	
セグメント利益	7, 309	238	142	8, 325	16, 015	
セグメント資産	63, 659	8, 485	13, 045	34, 643	119, 834	
その他の項目						
減価償却費	1, 395	21	100	1,626	3, 143	
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,752	186	106	3, 575	5, 621	

⁽注)日本における外部顧客への売上高76,002百万円のうち、41,075百万円は親会社であるグローブライド株式会社によるものとなります。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	合計
売上高 顧客との契約から生じる収益	68, 383	12, 513	14, 730	30, 379	126, 008
その他の収益 外部顧客への売上高 セグメント間の内部	68, 383	12, 513	14, 730	30, 379	126, 008
売上高又は振替高	13, 776	13	14 744	19, 065	32, 869
計 セグメント利益又は損失(△)	82, 160 4, 143	12, 527 317	14, 744 △219	49, 445 6, 210	158, 877 10, 451
セグメント資産 その他の項目	64, 950	7, 067	11, 883	35, 928	119, 829
減価償却費 有形固定資産及び	1, 621 2, 482	27 1, 360	110	2, 008 2, 775	3, 767 6, 718
無形固定資産の増加額	2, 402	1, 500	33	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	0,710

⁽注) 日本における外部顧客への売上高68,383百万円のうち、35,387百万円は親会社であるグローブライド株式会社によるものとなります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

報告セグメント計	172, 329	158, 877
		100,011
セグメント間取引消去	△37, 746	△32, 869
連結財務諸表の売上高	134, 583	126, 008

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	16, 015	10, 451
セグメント間消去及び全社費用 (注)	△3,889	$\triangle 2,955$
連結財務諸表の営業利益	12, 125	7, 496

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	119, 834	119, 829
セグメント間資産の消去	△28, 643	△30, 497
全社資産 (注)	17, 843	19, 385
連結財務諸表の資産合計	109, 034	108, 717

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る資産であります。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表 計上額	
ての他の項目	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	3, 143	3, 767	265	279	3, 409	4, 046
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	5, 621	6, 718	223	254	5, 844	6, 973

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日	当連結会計年度 (自 2023年4月1日
	至 2023年3月31日)	至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,058円92銭	2,361円38銭
1株当たり当期純利益金額	400円04銭	242円98銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	9, 188	5, 582
普通株主に帰属しない金額(百万円)	_	_
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	9, 188	5, 582
普通株式の期中平均株式数(株)	22, 968, 792	22, 976, 302

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	47, 485	54, 488
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	47, 296	54, 261
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	22, 971, 596	22, 978, 819

(重要な後発事象)

該当事項はありません。